

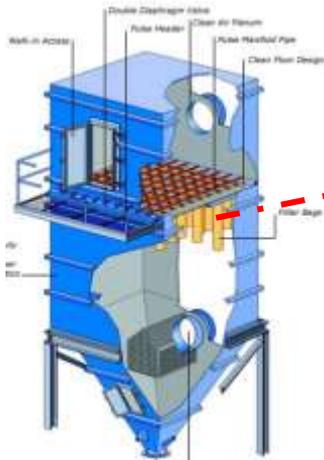
バグフィルタは微小粒子を捕捉できない —各地の放射能ごみ焼却裁判で争点になっている

HEPAフィルタとバグフィルタの粒子透過率比較
日本粉体工業技術協会編, 2012, 「ナノ粒子安全性ハンドブック」



タクマ (株) のホームページより

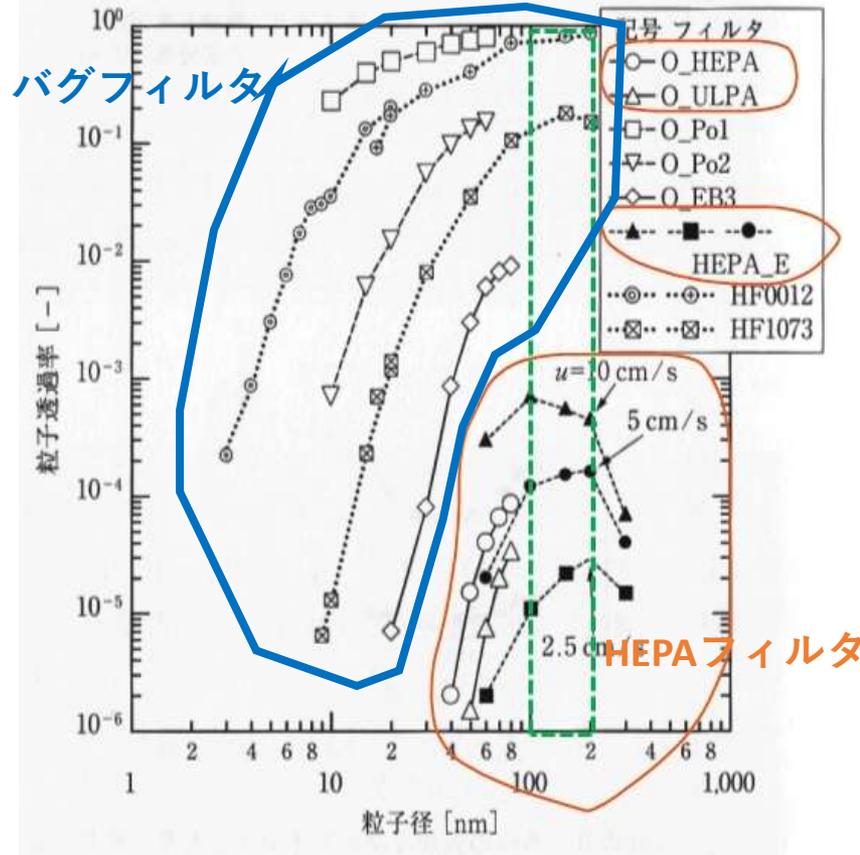
http://www.takuma.co.jp/product/msw/stoker_msw.html



ろ布



バグフィルタ



バグフィルタ：粒径0.1~0.2 μ mの粒子捕捉率は0~90%程度。高性能HEPAフィルタと比べて捕捉率は1/100~1/1000程度。

宮城県大崎市での汚染牧草焼却をリネン吸着法により監視 (2018.10.15~2019.8.31))

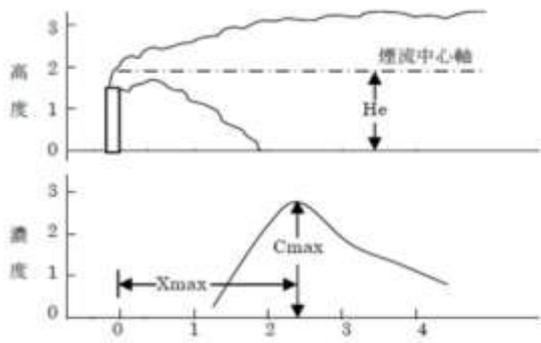


●大崎市内3か所での試験焼却に合わせてリネン吸着法で大気中のセシウム粉じん濃度を測定。

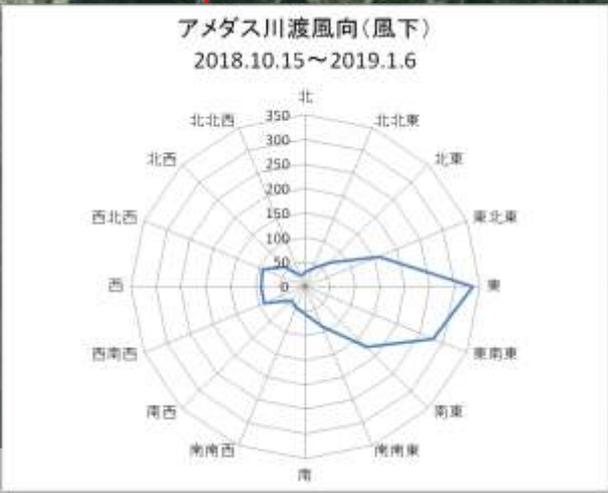
●秋 (2018.10.15~2019.1.6) 、 冬 (2019.1.7~2019.3.31)、 夏 (2019.6.15~2019.8.31)の3パターンで調査。

●アメダスによる風向データとの比較。

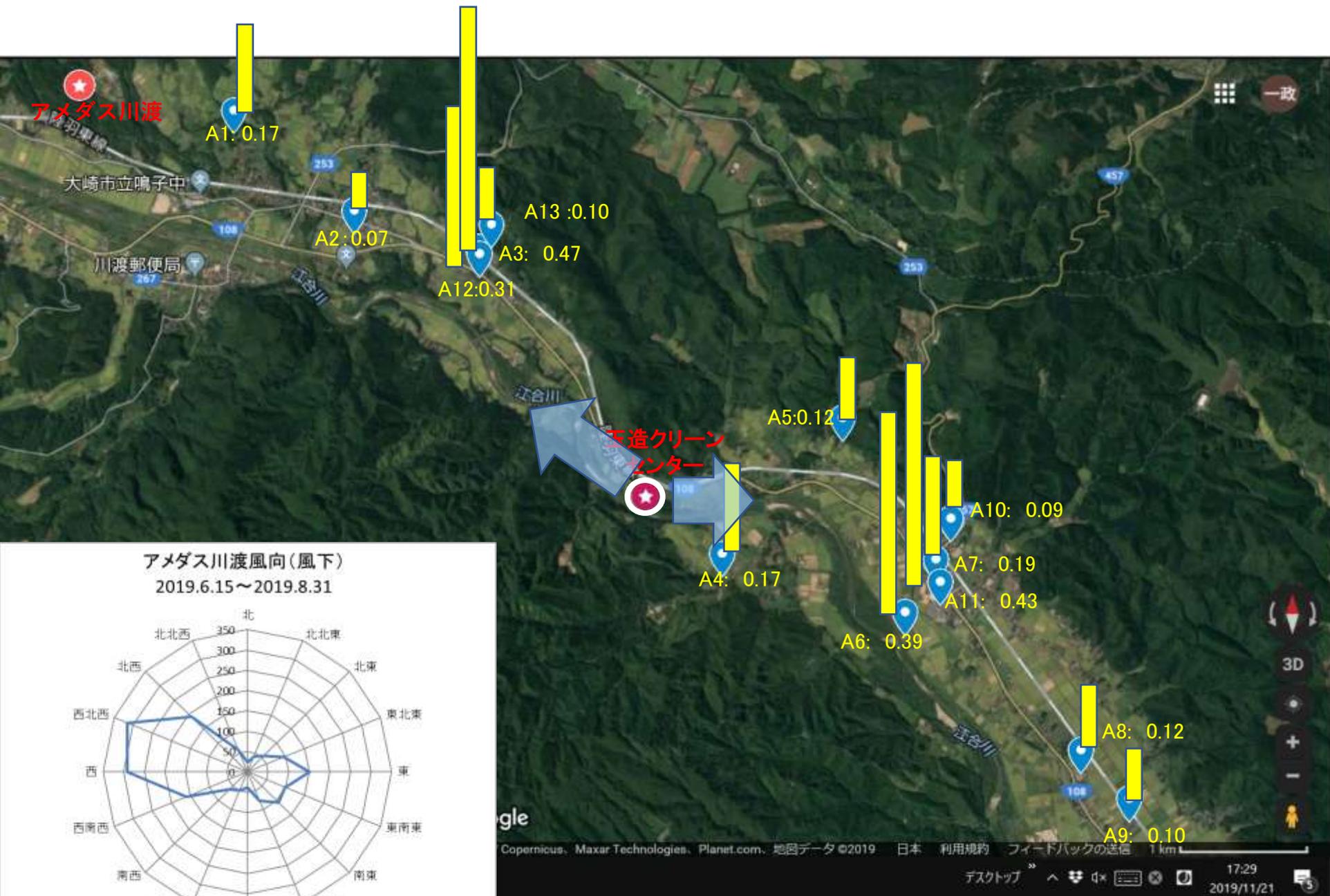
汚染牧草焼却でセシウム漏れを示すデータ ちくりん舎測定 (宮城県大崎市玉造CC)



He : 有効煙突高さ
Cmax : 最大着地濃度
Xmax : Cmax の出現する風下距離



玉造クリーンセンター周辺リネン吸着法結果(2019.6.15～2019.8.30)



【まとめ】

- ・そもそも安全性に問題がある事業。
- ・住民への説明をまともに行わない。
- ・説明後に重要事項を変更。
- ・虚偽説明で議会承認をとりつけ。
- ・「福島再生加速化交付金」の交付に問題あり。



NPO法人市民放射能監視センター（ちくりん舎）

副理事長 青木 一政

lab.chikurin@gmail.com